



あの日抱いた**災害への恐怖と心構え**
今、どうなっていますか？

2011年3月11日 東日本大震災

2011年3月11日の午後2時46分頃、宮城県三陸沖で深さ24kmを震源として、国内観測史上最大規模となるマグニチュード9.0の「東北地方太平洋沖地震」が発生。

震度4以上の揺れは2分以上続き、宮城県北部で震度7、宮城県、福島県、茨城県、栃木県などでは震度6強を観測。北海道から九州地方にかけて、震度6弱から震度1の揺れが観測されました。

この地震のあと、ただちに津波が発生。津波による被害は、東北地方の太平洋沿岸地域で特に甚大で、巨大な水の壁と化した大津波が防潮堤を乗り越え、すさまじい勢いであらゆるものを押し流しました。

津波の高さは多くの沿岸部で8mを超え、建物の5階まで浸水した地域もありました。

東日本大震災による主な被害

【死者・行方不明者】約2万2,300人

【住宅被害】約116万戸

(消防庁まとめ、令和2年3月1日現在)

忘れない あの災害と日頃の備え

被災者の声を一部ご紹介します。

2日前には逃げたのに・・・

(宮古市 50代男性 建設会社社長)

震災の2日前の3月9日に三陸沖で地震が発生し、津波注意報が出されました。

宮古の沿岸に住む80歳を超える私の叔母は、その注意報を聞いて逃げています。

逃げたけれども、そのとき津波は50センチしか来なかったのです。

私が一番ショックなのは、9日に逃げているのに、11日には逃げなかったという事実。「この間とは違うから」と言っても頑として言うことを聞かず、説得していたお嫁さんと子どもも亡くなってしまったのです。

震災のあの日、地元のラジオ局は、地震発生後に気象庁が発した「14時46分津波の第一波観測、大船渡で20センチ」を放送しています。

その低い観測値を聞いたから逃げなかったという話もありますが、私はそういうことではないと思います。海の近くで大きな揺れを感じたら、何度でも逃げてほしかったなと思っています。



備えのない一人暮らしを反省

(仙台市宮城野区 30代男性 会社員)

仕事中に地震が発生。事務所内はありとあらゆるものが倒れてきましたが、けが人もなく、全員無事でした。

その後、外に出ていた社員の安全と田舎の両親に無事なことを報告、幸いにもタイミングが良かったのか、メールで連絡をとることができて一安心。

その後は一人暮らしの寮に戻りましたが、メチャメチャな状態…。一人暮らしの寮住まいのため、普段は自炊を全くせず、毎日の食事は外食とコンビニで冷蔵庫の中はカラ状態が当たり前でした。

田舎の両親に物資の発送をお願いしようとしたのですが、震災発生直後は、宅配も動かなかったため支援物資も届かず、スーパーもコンビニもダメ…。大変な思いをしました。

今回の震災で食料の大切さを感じました。もし一日前に戻れるなら、缶詰等の食料を買っていたと思います。



出典：内閣府「一日前プロジェクト」<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/ichinitimae/index.html>

宮崎県危機管理局危機管理課

〒880-8501 宮崎県橋通東2丁目10番1号(宮崎県防災庁舎3階)

TEL:0985-26-7066 FAX:0985-26-7304

E-mail:kiki-kikikanri@pref.miyazaki.lg.jp

宮崎県防災・防犯情報メールサービス実施中!

気象情報や災害時の防災情報、防犯情報、家畜疾病情報などを無料配信します。

bousai.miyazaki-pref@raidan2.ktaiwork.jp宛てに

登録方法 空メールを送信してください。

(登録無料・パケット通信料のみ自己負担)

宮崎県防災メール

検索



今、そこにある危機 南海トラフ巨大地震 その時のために 今、できることを

南海トラフ地震とは、

静岡県の駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源として、概ね100年～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模な地震です。

この南海トラフ地震の中でも、科学的に考えられる最大クラス(マグニチュード9クラス)のものを「南海トラフ巨大地震」といい、発生すると本県でも甚大な被害が想定されています。

巨大地震が起こっても、冷静に行動できるように普段から備えておきましょう。



日本の
ひなた
宮崎県

宮崎県

南海トラフ巨大地震発生!

~その時すぐに動けますか?~

最大クラスの地震が発生すると、津波と揺れにより大きな被害が発生すると想定されています。

被害想定
(県想定)

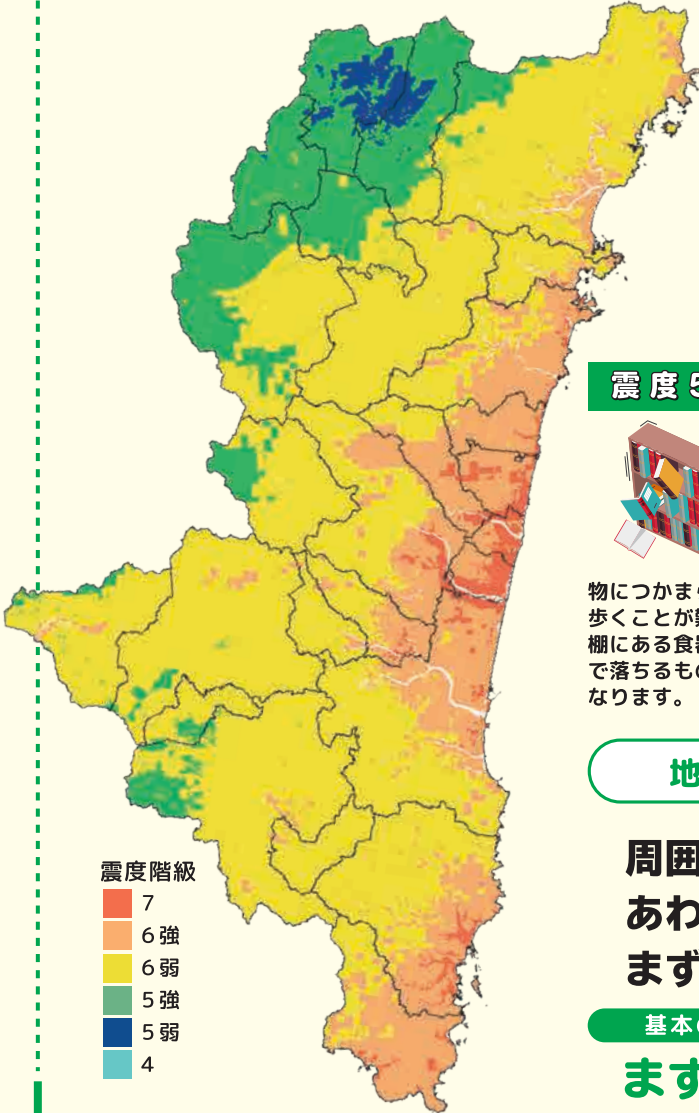
人的被害(死者数)
約1万5千人

建物被害(全壊棟数)
約8万棟

避難者(1週間後)
約37万人

南海トラフ巨大地震による県内の震度分布

南海トラフ巨大地震が発生すると県内全域が強い揺れに襲われると想定されています。



最大震度	市町村
震度7	宮崎市 延岡市 日南市 日向市 串間市 西都市 国富町 高鍋町 新富町 木城町 川南町 都農町 門川町
震度6強	都城市 小林市 えびの市 三股町 綾町 西米良村 美郷町
震度6弱	高原町 諸塚村 椎葉村 高千穂町 日之影町 五ヶ瀬町

震度5強



物につかまらな
い歩くと歩くと
歩くことが難し
く、棚にある食
器類や本で落ち
るものが多いま
す。

震度6弱



立っていることが困
難になり、固定し
ていない家具の大
半が移動し、倒れ
るものもあります。

震度6強



耐久性の低い木造建
物は、傾くものや
倒れるものが増え
ます。

震度7



耐久性の高い建物で
も、傾くものや、
倒れるものが増え
ます。

地震が発生したら、どうする?

周囲の状況に応じて
あわてず落ち着いて
まず、命を守る行動を!

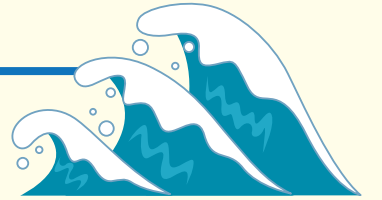
基本の安全確保行動

まず低く! 頭を守り! 動かない!



地震発生直後は、津波の危険性が!

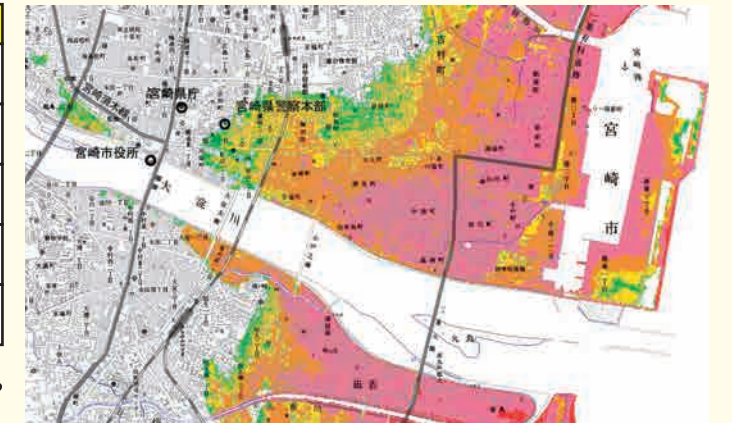
南海トラフ巨大地震発生後、本県における最大津波高は17m、最短津波到達時間は14分と想定されています。



沿岸の各市町の津波高及び津波到達時間(県想定)

市町	津波高	到達時間	市町	津波高	到達時間
延岡市	14m	17分	高鍋町	11m	20分
門川町	12m	16分	新富町	10m	21分
日向市	15m	17分	宮崎市	16m	18分
都農町	15m	20分	日南市	14m	14分
川南町	13m	20分	串間市	17m	15分

津波浸水想定(宮崎市)



各地域の津波浸水想定は宮崎県庁のHPで確認できます。

宮崎県津波浸水想定

検索



津波はおそろべき破壊力で人や家屋を飲みこみます。



東日本大震災では、津波が河川を50kmも遡上していたことが確認されており、河川流域でも注意が必要です。

津波から身を守るには、どうする?

唯一「逃げる」しかありません。

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で「大津波警報」、「津波警報」または「津波注意報」が発表されます。



津波から避難する4つのポイント

ポイント1
地震の揺れの程度で自ら判断しない

揺れは小さかったけど...

ポイント3
津波の“俗説”を信じるな

この地域には津波は来ないから...

ポイント2
避難の際には車は使わない

ポイント4
遠くよりも近くの高い場所に

その時のために 今、できることを

大規模災害から命を守る3つの行動

耐震化 早期避難 備蓄

今日からすぐできること

家の耐震化と家具の転倒・落下防止を!



- 家具の転倒防止**
『L字金具』や『ベルト式器具』、『突っ張り棒』などで壁や天井と固定させましょう。
- 家具の配置工夫**
家具が倒れた時に出入り口をふさいだりしないよう、家具の向きや配置を工夫しましょう。

危険を感じたら安全な場所へ早めの避難を!



- 避難場所や避難経路の確認**
いざというとき、安全に避難行動ができるように、避難場所や、安全な避難経路をハザードマップなどで確認しておきましょう。
- 家族の役割分担を決めておく**
高齢者や乳幼児がいる場合は、保護する役割の人も決めておきましょう。

災害後1週間は備蓄で乗り切る準備を!



- 家庭状況によって必要な物は変わる**
乳幼児がいる、寝たきりの高齢者などの要介護者がいるなど各家庭の事情に応じた備えが必要です。
- まず必要なのは水と食料**
最低3日分(できれば1週間分)の水と食料を備えておきましょう。

家族防災会議を開き家族で防災について話し合おう。

災害が発生したときの役割分担や家族が離ればなれになったときの連絡方法、避難場所などを確認しましょう。



- 日頃から近所や地域とのつながりを持ちましょう。**
大規模災害では隣近所すべてが被災者となることから、地域での助け合いが必要となります。挨拶や声掛けで、日頃から「顔の見える関係」を心がけましょう。